

實性寺 表千家茶道

9

月 稽古

令和元年

聴松軒

Choshouken

天然忌にちなみみ



【お茶湯】



【花寄せ】



【旦座】



【花入れ飾り】



【茶杓飾】



【掛物】



「時々払式」尋牛齋宗匠

「花入」

青磁 八卦

備前 旅枕

「花」

金水引 ミソハギ 桔梗 水引

秋海棠 緹芦 ノウゼン葛 底紅

祇園守り 吾木瓜 ホトトギス

矢羽スキ 秋明菊

「釜」

風炉

「香合」

富士釜 敬典作

道安土風炉

「水指」

樂 くちなし細

茄子に鈴虫 一位木



【花入れ飾】

【旦座】

【花寄せ】

【お茶湯】

◆ 一門にて主客共茶道口より入席
自服（仏に供え、客に施し、己も服する）

◆ 花入れを数多く、2順ほど
2回目先礼を略し、次にゆづることも、
花入れ残すこととも
役割り扱い



◆ 床飾りするも点前に用いることあり



茶杓 大あぐら



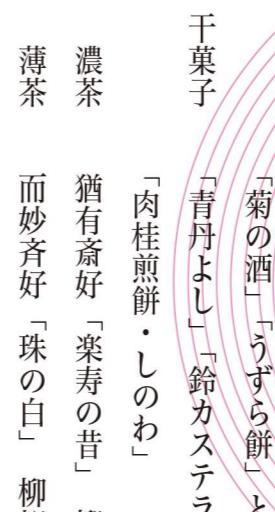
茶碗 黒



薄茶器
蓋置
青磁

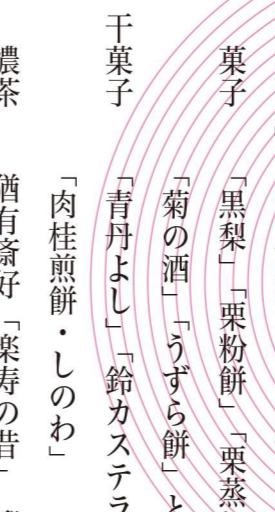


茶碗
万古



茶碗 黒

濃茶
干菓子
菓子
猶有斎好
而妙斎好
肉桂煎餅・しのわ



茶碗
東大寺

栗粉餅
菊の酒
青丹よし
黒梨
うずら餅
鈴カステラ
栗蒸し羊羹
樂壽の昔
珠の白
柳桜園

【茶碗】

【薄茶器】

【茶杓】

【茶碗】

黒 紫野窯
東大寺茶碗 萩 陶兵衛
万古 月ススキ 兼中斎宗匠
大あぐら 席主作

替

蓋置

青磁 夜学

真塗中棗

唐金 エフゴ